

みやざき 県議会の動き

No.100
12
2024

令和6年12月1日発行
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行



9月定例会

可決等された主な知事提出議案

- 令和6年度宮崎県一般会計補正予算(第4号、第5号、第6号)
 - 第4号** 東京ビル再整備事業、介護現場におけるICT導入支援事業 等
 - 第5号** 南海トラフ地震等に備えた避難所環境改善事業、中小企業BCP策定等緊急支援事業 等
 - 第6号** 第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査に伴う経費
- 上記3件をあわせて約161億円の増額補正が行われ、その結果、一般会計の予算規模は、6,779億6,092万6千円となりました。

可決された意見書

- 医療的ケア児者・重症心身障がい児者への支援充実を求める意見書
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書
- コウライオヤニラミの特定外来生物指定を求める意見書
- 私学助成の拡充・強化を求める意見書

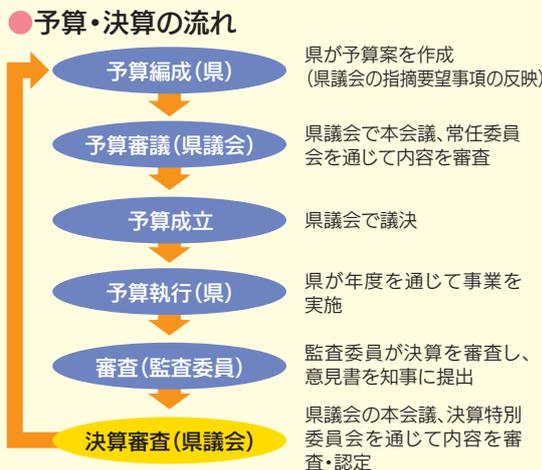
9月定例会は、9月6日(金)から10月9日(水)までの34日間にわたって開催され、代表質問において4名、一般質問において10名の議員が質問を行ったほか、常任委員会及び特別委員会において、付託された議案の審査や所管事項の調査などが行われました。

また、前年度の決算関係議案について決算特別委員会を設置し、審査を行いました。

この結果、「令和6年度宮崎県一般会計補正予算(第4号)」など28件の知事提出議案を原案のとおり可決(同意・承認・認定)したほか、「医療的ケア児者・重症心身障がい児者への支援充実を求める意見書」など5件の議員発議案を原案のとおり可決しました。

令和5年度の決算審査を行いました

9月定例会では、前年度の決算関係議案について専門的に審査を行うため、決算特別委員会が設置されました。決算特別委員会は、議長及び2名の監査委員を除く全議員で構成され、委員長には野崎幸士副議長、副委員長には川添博議員が選任されました。委員会は、5つの分科会に分かれ、一般会計・特別会計及び4つの公営企業会計について、予算が適正に執行されたかなどの観点から慎重に審査を行いました。その結果、一部に改善すべき点は見受けられるものの、全般的には適正に執行されており、いずれも認定又は可決及び認定すべきものとの結論に至りました。



9月定例会の概要

代表質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
代表質問の様子は、県議会ホームページの議会中継(録画)でご覧いただけます。



たけだ こういち
武田 浩一
議員
宮崎県議会自由民主党
申間市選出

東京一極集中是正について

問 人口減少の克服に向けては、東京一極集中の是正は不可欠と考えるが、知事の思いを伺う。

答 知事 今こそ、強い覚悟で、東京一極集中という構造的課題の是正に踏み出すべきであり、この問題を国政の中心的課題として位置づけていただきたいと強く願っている。企業等の地方移転など、地方分散型社会の実現を図るよう、本県知事、そして九州地方知事会長として国に強く対応を求めるとともに、若者や女性がいきいきと活躍し、将来に夢や希望を描くことができる宮崎づくりに全力を尽くしていく。



ひだか よういち
日高 陽一
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

地域の災害対応力を維持していくための取組

問 地域の災害対応力を維持していくためにどのような取組を行っているのか伺いたい。

答 県土整備部長 入札制度において、総合評価落札方式における地域企業育成型や指名競争入札の実施等により、地域の建設業者が受注しやすい環境づくりに取り組むほか、共同して災害対応を行う地域メンテナンス業務を導入し、その取組を入札で評価したり、復旧・復興JV制度を創設し、災害復旧工事に関わる仕組みを導入。今後とも災害対応の空白地域が生じないように取り組む。



しげまつこうじろう
重松幸次郎
議員
公明党宮崎県議団
宮崎市選出

「グリーンボンド」について

問 環境問題の改善に役立つグリーン事業に用途を限定する債権(ボンド)だが、その「グリーンボンド」の概要と発行について、総務部長に県の考えを伺いたい。

答 総務部長 グリーンボンドは、地方公共団体が、気候変動へ適応していくため、防災・減災対策や環境対策の財源として共同で発行する地方債であり、本県においても今年度初めて40億円を発行し、河川の護岸整備や浚渫などの風水害対策に活用することとしている。今後も、資金需要等を踏まえ、継続的に発行したいと考えている。



まつもと てつや
松本 哲也
議員
県民連立憲
延岡市選出

熊本県山都町の廃棄物最終処分場について

問 設置計画の見直し表明後、2年間の動きと県の取組、今後の対応は。

答 環境森林部長 事業者への確認では、現在、設計等の委託業者、専門家等との打合せや他の施設の視察を行っているとのこと。当初は、2年かけて設置見直しと事前の環境影響調査を行い、令和7年3月頃に住民説明会を開催予定であったが、更に2年以上かかる見通しで、完了の目処は立っていない。今後も情報収集や提供に努め、熊本県を通じて事業者对本県関係市町や住民への説明責任を求める。

一般質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
一般質問の様子は、県議会ホームページの議会中継(録画)でご覧いただけます。



やました ひろみ
山下 博三
議員
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

自衛隊の評価と防衛議員連盟との連携について

問 自衛隊の評価と、県内26市町村の防衛議員連盟との連携について、防衛協会会長でもある知事に伺いたい。

答 知事 風水害や鳥インフルエンザ発生時等において迅速かつ多大なる支援をいただき、その存在を頼もしく感じており、感謝の気持ちを持って防衛協会会長を務めている。県内の防衛議員連盟の皆様と連携しながら、自衛隊の災害対応等の活動をともに支援してまいりたい。



いむら みつお
今村 光雄
議員
公明党宮崎県議団
都城市選出

教頭等の時間外業務時間削減の取組について

問 副校長・教頭の時間外業務時間について、45時間未満の割合は、例えば小学校では約17%と厳しい状況。県の取組について伺いたい。

答 教育長 校務支援システムの活用による各種調査や会議の効率化、校舎の戸締りの分担や留守番電話の設置、登下校の見守りを地域のボランティアにお願いするなど、業務内容と時間の削減に取り組んでいる。今後、更なる業務明確化、人材配置等の研究を行う。



ごとう てつろう
後藤 哲朗
議員
宮崎県議会自由民主党
延岡市選出

県内病院のBCP(事業継続計画)について

問 県内の病院におけるBCPの策定状況と今後の取組について伺いたい。

答 福祉保健部長 令和5年9月時点で災害拠点病院が100%、それ以外の病院が35.6%となっており、近年の地震等の発生を踏まえるとBCP策定が急がれる。県内病院に対して、国の手引や研修資料等を添えて、策定の依頼を文書で行ったところであり、今後ともBCPの重要性について周知していく。



ひだか ひろゆき
日高 博之
議員
宮崎県議会自由民主党
日向市選出

東九州自動車道の休憩施設整備について

問 「北川はゆま」から「川南パーキングエリア」区間の休憩施設整備は急務と考えるが、整備に向けた取組について伺いたい。

答 知事 これまでも建設促進協議会等で財務省や国土交通省等に要望している。8月にNEXC O西日本を訪ねた際は九州における重要な課題との認識が示された。今後とも、私が先頭に立ち、必要性を訴え、安全・安心な高速道路整備の実現に向けて取り組んでいく。



いわき かつや
岩切 達哉
議員
県民連立憲
宮崎市選出

未来につなげる少子化対策への提言について

問 提言にある女性や若者にとって魅力ある雇用の創出にどう取り組んでいくか。

答 知事 人口減少対策は、自然減と社会減の両面から重層的に対策を講じていく必要がある。県内定着のため、雇用の質や魅力の向上が重要であり、職場環境の整備、多様な雇用形態など女性や若者にとって望ましい働き方ができる良質な雇用の創出に全庁を挙げて取り組み、選ばれる宮崎づくりを進める。



うちだ りさ
内田 理佐
議員
宮崎県議会自由民主党
延岡市選出

天皇皇后両陛下の県北地域への訪問について

問 宮崎国スポにおいて、県北地域を訪問していただきたいと考えるが、過去の御訪問状況と今後の県の取組について伺いたい。

答 知事 昭和天皇・皇后両陛下が昭和48年の全国植樹祭において、延岡市の城山公園などを、上皇・上皇后両陛下が昭和61年の全国育樹祭において社会福祉センターを御視察された。県としては、大会に伴う行幸啓の御日程等も踏まえながら、御視察先について宮内庁に提案してまいりたい。



ほんだ としひろ
本田 利弘
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

国道10号宮崎西バイパスの整備状況について

問 国道10号宮崎西バイパスの整備状況について伺いたい。

答 県土整備部長 宮崎市大橋3丁目から富吉までの延長5.7kmを、国が4車線で計画し、昭和49年に事業化され、平成12年に全線開通となり、一定の効果が出ているが、一部区間は2車線で供用されている。今後とも関係機関と連携を図りながら、県央地域における道路ネットワークの構築に取り組んでまいりたい。



さいとう りょうすけ
齊藤 了介
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

宮崎県総合文化公園の駐車場について

問 コンサートや作品展、イベント等が重なる度に駐車場が不足している。美術館東側の文化広場を駐車場として有効活用できないか。

答 県土整備部長 文化広場は、「天の岩戸」神話をモチーフに整備され、文化施設の建築美と調和した景観を形成していることから、駐車場としての活用は難しい。現在、都市公園法等の制約がある中、収容台数を増やすための検討を部局横断的に行っている。



ほし の ひろあき
図師 博規
議員
無所属の会 チームむか
児湯郡選出

除草剤使用が及ぼす環境や人体への影響について

問 WHOは農薬の主成分のグリホサートが、発がん性の恐れがあるとしており、他県ではグリホサート含の除草剤の使用を禁止している自治体もある。本県においても県民の健康を守るため公共の場で同様の取組を始めては。

答 県土整備部長 県の都市公園等では総合運動公園等5つの公園でグリホサート含の除草剤も使用している。今後の除草剤の取扱いは、他の公共施設の状況や利用者の意見も参考に検討していく。



やま の りな
山内佳菜子
議員
県民連立憲
宮崎市選出

県民に身近な「地域の書店」の振興について

問 「読書県みやざき」として、地域の書店を守ることで、県民が本を選び、本を読む、豊かな読書環境を守り育てる考えはないか。

答 知事 地域の書店は書籍販売の利益率の低さやインターネット販売の拡大などから厳しい経営状況にあり、本県でも10市町村で書店がない。国の動向を注視しながら、引き続き、事業者との意見交換等を通じて、実態の把握や課題整理に努めていく。

常任委員会

9月定例会の主な審査状況及び県外の現地調査について紹介します。

国際定期便「宮崎—台北線」の再開について

国際定期便「宮崎—ソウル線」について、利用率が下がる夏に支援を強化しているところであるが、経済交流を充実させていくために、再開する「宮崎—台北線」についても、アウトバウンドの機運を醸成する施策をいち早く進めていただくよう要望しました。

県外調査

国立社会保障・人口問題研究所や茨城県常総市などを訪問し、茨城県庁では国スポ・障スポに向けた取組などについて調査しました。



笠松運動公園

県立病院の経営改善に向けた取組について

日南病院の病棟再編後の病床稼働率について、適切な目標設定を行うとともに、公立病院としての役割を果たすため、国に対する地方財政措置の要望を含め、収入の確保に向けた取組をしっかりと行っていただくよう要望しました。

商工建設

観光みやざき緊急誘客事業について

南海トラフ地震臨時情報の初めての発表により生じた観光客の不安を払拭し、観光需要を早急に回復するため、国際定期便増便等を活用したインバウンド誘客拡大をはじめ、県内の魅力ある情報の発信により、県内宿泊者の誘客に努めていただくよう要望しました。

県外調査

黒部ダム、東洋計器、富士電機パワーセミコンダクタなどを訪問し、ソフトバンク株式会社では、DXを活用した働き方などについて調査しました。



黒部ダム

環境農林水産

宮崎牛需要創出緊急対策事業について

牛肉消費が長期にわたり低迷し、畜産農家の離農が増える中、県内外での新たな需要を創出する緊急対策事業を矢継ぎ早に実施いただいているので、継続して対策に取り組んでいただくよう要望しました。

文教警察企業

宮崎県暴力追放に向けた取組について

他県の指定暴力団による拳銃を使用した抗争があったことから、組事務所を24時間体制で警戒し、通学時の児童保護のために通学路の警戒を高めるなどしているが、今後、あらゆる暴力を追放し、暴力のない安全で安心な宮崎県を目指していただくよう要望しました。

県議会インターンシップの実施

宮崎県議会では、宮崎産業経営大学と協力して、令和2年度から「県議会インターンシップ」を実施しています。今年度は、4名の学生が9月定例会の中で本会議や常任委員会での業務を体験しながら、県議会の仕組みや役割などを学びました。

学生からは、「正副議長との意見交換や議場業務など貴重な体験ができ、県議会に対して理解が深まった。」「県の状況や課題について詳しく調べたくなった。」等の感想がありました。

今後も、県議会に広く関心を持っていただけるよう、取組を進めてまいります。



特別委員会

9月定例会中における調査及び県外の現地調査について紹介します。

地域活性化対策

9月定例会 女性就業の現状や働きやすい職場づくりへの取組について、関係団体等と意見交換を行いました。

県外調査 移住施策等の取組についてNPO法人グリーンバレー(徳島県)から説明を受けたほか、フクヤ建設(株)(高知県)、和気町役場(岡山県)、岡山市役所の現地調査を行いました。



NPO法人グリーンバレー

防災減災・県土強靱化対策

9月定例会 令和6年8月発生の地震・台風災害や災害発生時の体制等について、総務部(危機管理局)から説明を受けました。

県外調査 (一財)国土技術研究センター(東京都)から「災害の自分事化協議会」の検討成果について説明を受けたほか、のと里山空港を始めとする被災地(石川県)、富山県広域消防防災センター、富山県庁の現地調査を行いました。



(一財)国土技術研究センター

県議会議員講座「こんにちは!県議会です」の実施

県議会では、議会や議員を身近に感じてもらい、選挙や政治への関心を高めることを目的として、県内高校の生徒の皆さんに、県議会議員が直接話をする県議会議員講座を実施しています。

令和6年10月22日には、内田理佐議員と工藤隆久議員が県立宮崎海洋高等学校で講座を実施しました。

講座では、県議会についての説明や議員活動の話のほか、質疑応答を行いました。

講座を受けた生徒からは、「県議会や議員の活動について詳しく理解することができたので良かった」、「自分の意見を政治に反映するために、有権者になったら投票に行ってみたい」などの声をいただきました。



お金のかからない政治の実現にご理解を!

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ったり、有権者が政治家に寄附を求めることは、公職選挙法により、禁止されています。

- 地域のスポーツ大会やお祭りへの寄附、飲食物の差入れなど、各種行事に金品を贈ること
- 歳暮、中元、花輪、生花、祝儀などを贈ることは禁止されています。また、年賀状などのあいさつ状を出すことも、禁止(自筆による返信を除く)されています。

さらに、宮崎県議会では、
○上記行為を選挙区外でも行わない
○選挙区内外を問わず、祝電・弔電を打たない
○贈らない、求めない、受け取らないの「三ない運動」を順守することを申し合わせ、お金のかからない政治の実現を目指しています。
県民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



「県議会の動き」が100号を迎えました!



県議会の動き 第1号

「県議会の動き」が今号で記念すべき100号を迎えることとなりました。

平成20年6月発行の第1号から、定例会の概要など様々な議会活動の情報をお知らせして参りました。

これからも県民の皆さまにより分かりやすい情報をお届けできるよう努めてまいります。

令和6年11月定例会

11月定例会は、12月10日(火)まで開催しています。
詳しい日程は、県議会ホームページをご覧ください。



▲県議会HP



▲県議会公式facebook